アートによる定禅寺通エリア魅力創出事業

地域特性に合わせた多様な
主体が活躍できる社会づくり

現在進行する定禅寺通再整備工事の完了後を見据え、アートで定禅寺通に新たな魅力や賑わいを創出します



完成イメージ（定禅寺通再整備方針より）



オン・ディスプレイ展示作品の一例
志賀 理江子《螺旋海岸 31》



展示イメージ

現代アート作家によるプロジェクト等の取り組み

令和7年度は初の試みとして、定禅寺通でのアート作品の展示や、せんだいメディアテーク館内でのアート作品の展示（オン・ディスプレイ）などを行いました。令和8年度は、将来的に大規模なアートイベントを開催することを見据えた社会実験として、市民や地域を巻き込む形態のアートプロジェクトを盛り込んだ2度目のアートイベントの開催を予定。また、せんだいメディアテークにおける「オン・ディスプレイ」の追加展示も実施します。

障害者アートプロジェクト

定禅寺通エリア周辺の企業やビル・店舗など地域の皆様にご協力いただき、市内で活動する障害のある作家の方が制作した作品を中心に展示するイベントを開催予定です。街なかを個性豊かな作品で彩り、道行く人が自由に鑑賞し楽しめる空間を創ることで、障害理解の更なる推進や、障害のある方のアート活動を通じた活動を応援します。

企業の皆様へのメッセージ

「定禅寺通再整備方針」でうたう「ひと中心の空間」の具現化を目指し、ハード面のみならず、ソフト面で定禅寺通のさらなる魅力を創出することで、定禅寺通を日常的に多様な人々が集い、憩い、何度でも訪れたくなるような市民の庭へと作り上げていきます。皆様の後押しをお願いいたします。

（現代アート作家によるプロジェクト担当）：文化観光局　文化振興課　TEL022-214-2641
（障害者アートプロジェクト担当）　：健康福祉局　障害企画課　TEL022-214-8151